

電圧計の使い方 (豆電球にかかる電圧をはかる場合)

●電圧計 (直流)



300 V	
15 V	-端子
3 V	
	+端子

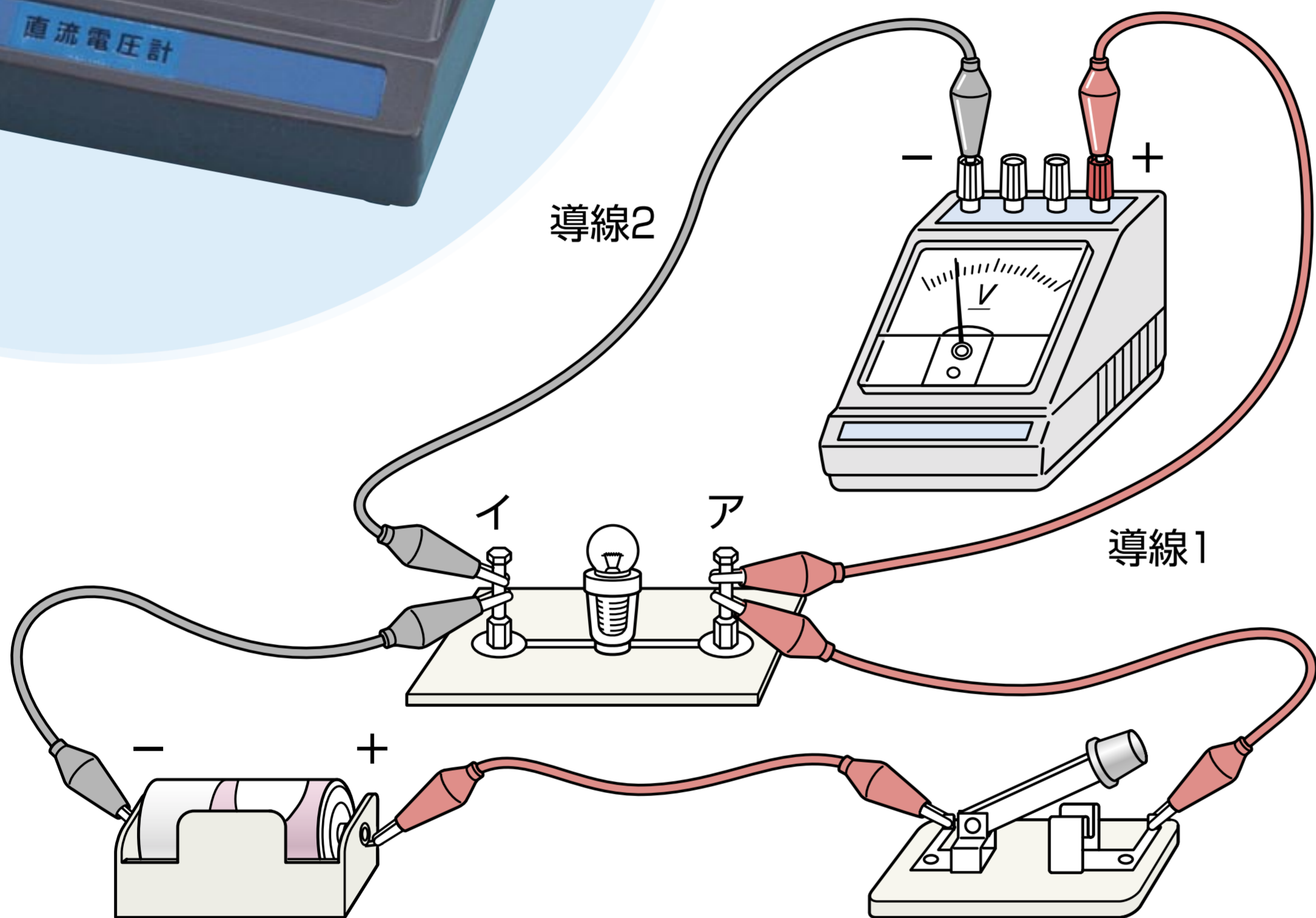
-端子の選び方

- 300 V → 300 Vまではかれる。
- 15 V → 15 Vまではかれる。
- 3 V → 3 Vまではかれる。

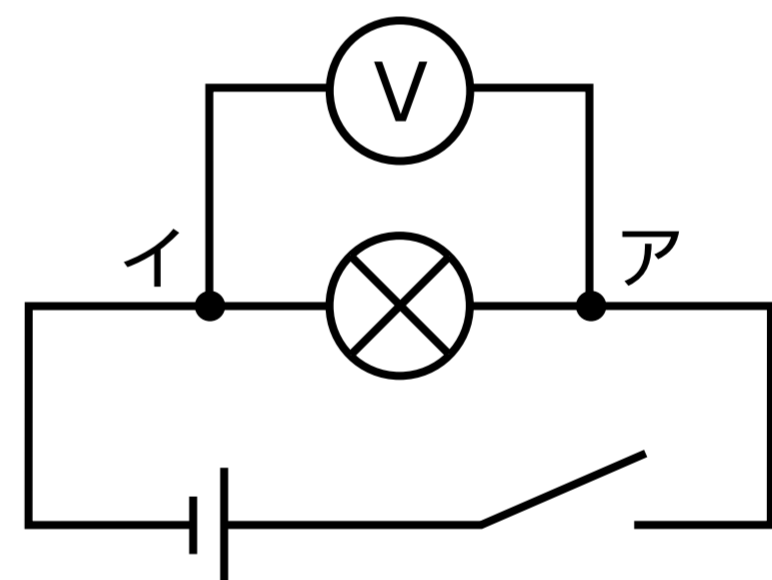


1 はかろうとする部分に電圧計を並列につなぐ。

スイッチを切った状態で、図のように、+端子を電池 (電源) の+極側に、-端子を電池 (電源) の-極側につなぐ。-端子は3個あるが、電圧の大きさが予想できないときは、まず300 Vの端子につなぐ。

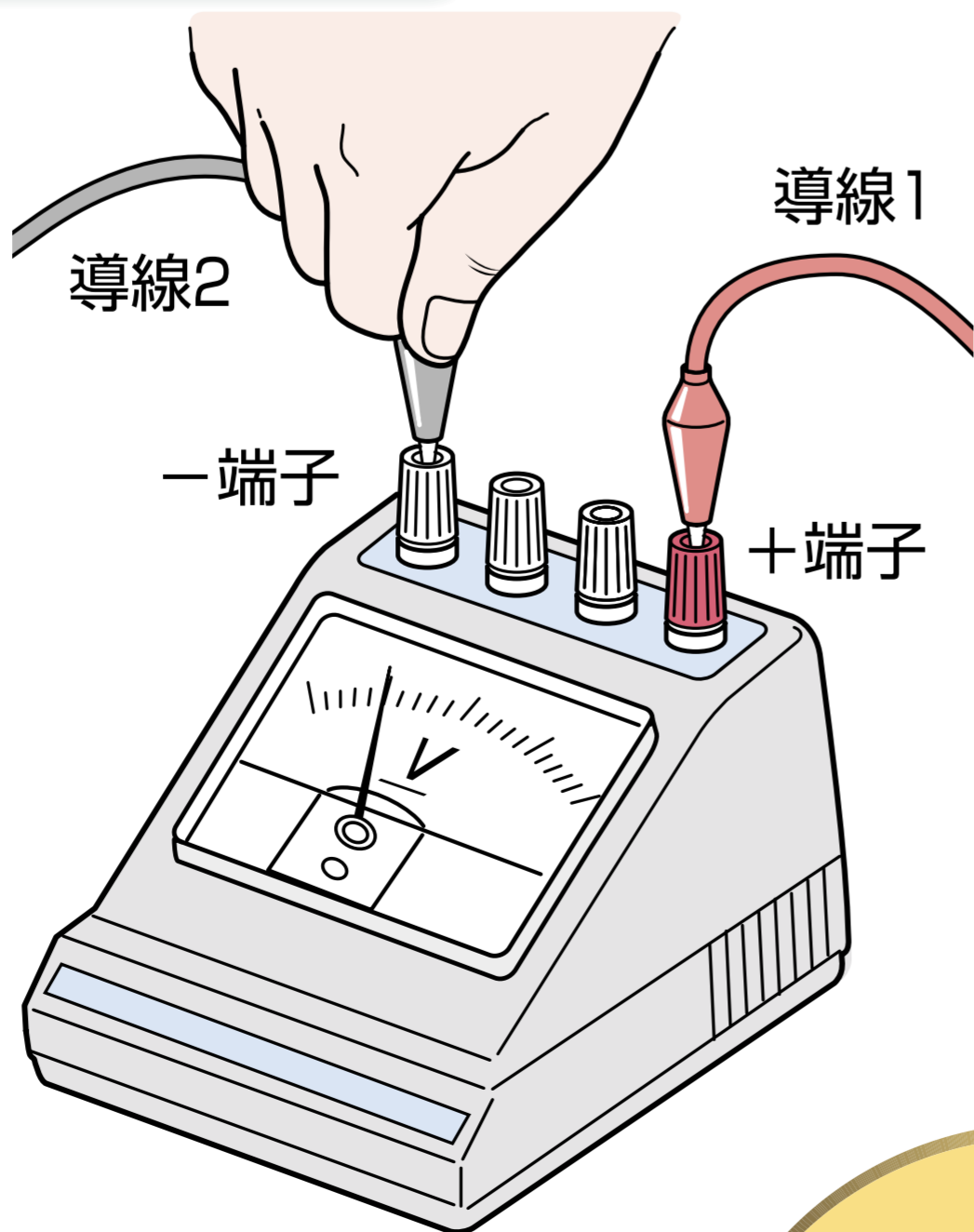


電圧計は、はかろうとする部分に並列につなぐ。たとえば、豆電球にかかる電圧をはかる場合は、豆電球に並列につなぐ。



2 端子を選ぶ。

スイッチを入れて目もりを読む。針の振れが小さすぎるときは、スイッチを切ってから、導線2を15V、3Vの順に小さいほうへつなぎかえる。



3 目もりを読む。

目もりは正面から見て読む。最小目もりの $\frac{1}{10}$ まで読む。-端子の選択によって読み方は異なるので注意する。右の写真は3Vの端子を使っているので、電圧の大きさは1.50Vである。

